

地域の未来を拓く

～沖縄で考える地域の大学の意義と東アジアの平和～

<日時> 2024年6月1日(土)13時30分～16時30分 ※開場 13時

<場所> 沖縄大学本館 103 教室(同窓会館) ※オンラインあり

<講師> 姜 尚中氏(東京大学名誉教授)

2010年に開催された第467回土曜教養講座「沖縄の明日を拓く」において、姜尚中先生をお招きし、朝鮮の核保有問題等の影響を受け PAC3 配備などで揺れていた沖縄で、沖縄、朝鮮半島を含む北東アジアについて現状、構想を語っていただいた。

あの講座から 14 年。朝鮮戦争は未だ停戦状態。朝鮮半島有事や台湾有事が煽られ、その影響を受けて沖縄では自衛隊の配備強化が進み、辺野古新基地建設の強行、普天間飛行場は未だに閉鎖されていない等、沖縄はますます軍事化されている。軍事強化され紛争の危機感が高まる中で、私たちは平和をどう創り出すのか。

政治学者として在日コリアンとして、日本政治、北東アジアの政治を鋭く分析し、新たな視点を提起してきた姜尚中先生を再びお招きし、紛争の危機が高まる沖縄から、平和の希望を思考する。

第二部では、地域に根差した大学である本学の山代寛学長を交え、地域の大学の存在意義や教育、平和についての対話と、フロアからの質疑への応答によって地域の未来を考えたい。

<進行>

- 13:30 開会挨拶：島村聡地域研究所所長
趣旨説明：高良沙哉地域研究所副所長
- 13:40 第一部：講演
姜尚中
- 14:40 休憩・質問用紙回収
- 14:50 第二部：パネルディスカッション
姜尚中・山代寛（司会：高良）
- 15:50 質疑応答
- 16:20 まとめ
- 16:30 終了



◆無料 ◆5/27(月)までに要申込 申込【Google フォーム QR コード】

(本学 HP からもお申込みできます。)

Googl フォームに入力し送信してください。講座の 1 週間前までに受付確認メールを送ります。

※ 受付確認メールが届かない場合は講座前日の 14 時までにお問い合わせください。

※ 受付確認メールで感想フォームの URL をお送りします。受講後、ご感想をお寄せください。

沖縄大学地域研究所(〒902-0075 沖縄県那覇市国場 405)
Tel:098-832-5599 / Mail:chicken-staff@okinawa-u.ac.jp



登壇者

姜尚中(東京大学名誉教授)

1950年8月12日熊本市生(73歳)

2013年：東京大学名誉教授～現在

2016年：熊本県立劇場理事長兼館長 ～現在

〈文化関係の主な活動歴〉

NHKE テレ「日曜美術館」司会(H21.4～H22.3)

文筆活動多数(小説)「母-オモニー」「心」(その他)「悩む力」「リーダーは半歩前を歩け」「夏目漱石こころ」「心の力」「悪の力」「維新の影」「母の教え」「アジアを生きる」など

山代寛(沖縄大学学長、健康栄養学部教授)

島根県松江市生まれ。1987年 琉球大学医学部医学科卒業 1993年鳥取大学大学院(博士(医学)) 外科医として医師の道を歩んだのち、2008年に沖縄大学教授に転身、福祉を学ぶ学生に臨床経験をもとに医学一般の講義を担当。2019年、沖縄県の長寿県復活を実現すべく、県内唯一の管理栄養士養成施設である健康栄養学部の創設とその後の運営に副学長兼学部長として参画。同学部にて解剖生理学、臨床病態学、生命倫理等の講義を担当。学長就任後、沖縄大学の設立経緯から今後の課題に至るまで、さまざまな観点から深く学ぶことを目的に設置された講義科目「沖縄大学論」をコーディネートしている。

高良沙哉(沖縄大学地域研究所副所長、人文学部教授)

那覇生まれ。北九州市立大学大学院社会システム研究科修了(博士(学術))2011年より現職。

専門：憲法学、沖縄における軍事基地問題

著書等：『慰安婦問題と戦時性暴力』法律文化社

「琉球/沖縄差別の根底にあるものは何か」『「沖縄問題」の本質』平和研究54号(2020年5月)

「安保関連3文書改定と沖縄」『法と民主主義』576号(2023年2月)他

